



- ◎平成26年度定時総会
- ◎新入会員紹介
- ◎安全就業
(標語入選作品)
(知っておきたい「熱中症」)
- ◎介護職員初任者研修
- ◎配分金の支払日
- ◎互助会親睦旅行(予告)



平成26年度

第22回定期総会開催される

平成26度定期総会が、去る5月30日（金）午前10時から府中市文化センターにおいて、岡崎広島県議会議員をはじめ、戸成府中市長、小野府中市議会議長、戸田府中公共職業安定所所長のご来賓をお迎えし、出席会員25名（内委任169名）のもと盛大に開催されました。



▶ 岡崎県議会議員



▶ 戸成市長

◀ 小野市議会議長



総会は、物故者への默とうから始まり、桑田理事長の挨拶で開会し来賓の方々からご祝辞をいただきました。



議長

続いて桑田士夫明さんを議長に、前原裕吉さんと豊博子さんを議事録署名人に指名し議事に入りました。



▶ 戸田職業安定所所長

続いて第4号議案「役員の選任について」は、落合理事、米倉監事の退任に伴い、後任役員として久保理事、瀬尾監事の選任同意を求め、

続いて第5号議案「理事長に対する権限委任について」を提案説明、いずれの議案についても慎重審議され、原案どおり承認されました。

報告及び決算についてを一括提案説明、石谷監事が監査報告を行いました。

続いて第2号議案「定款の変更について」は、センターが実施する職業紹介事業が今年10月から無料から有料へと移行するため、定款を変更し変更登記後に行政庁である広島県へ事業変更届出書を提出する必要があるとの提案説明、

続いて第3号議案「役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について」は、常勤役員の報酬額が本規程に明示されていないため、常勤役員の報酬額は本規程を適用せず職員給与規程を適用する旨の条文を加えることの提案説明を行い、



続いて、第1号報告「平成25年度収支補正予算について」の報告、その後、第2号報告「平成26年度事業計画について」と第3号報告「平成26年度収支予算について」を一括報告し、最後に、前原副理事長の挨拶で総会を閉会しました。

なお、総会終了後、理事会を開催し、退任された落合副理事長の後任に久保隆氏を選任し、全ての総会行事を終了しました。



安全就業で 市民から信頼される 魅力あるシルバーセンターに

理事長　葉田　嘉孝

梅雨も明け、夏の青空のまぶしい季節になりましたが、今年の夏の長期天気予報によりますと、エルニーニョ現象で冷夏も予報されておりますが、猛暑でなければよいと祈っています。

会員の皆さんには、日々をそれぞれの立場で、元気でご活躍いただき、心から感謝し厚くお礼を申し上げます。



◇定時総会の前段において、府中警察署の中岡係長より『高齢者の交通事故防止について』研修講演があり、会員の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

交通事故防止の研修講演



でまいります。
関係各位のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

我が国は、人類史上例を見ないスピードで高齢社会を迎えており、とりわけ戦後の日本を牽引してきた団塊の世代が65歳となり、高齢化は今以上に急速に進むと思われます。しかしながら、取り巻く環境が如何に変化しようと、「高齢者が働くことを通じて生きがいを得ることも、地域社会の活性化に貢献する。」という理念の下に、地域に根ざした高年齢者の自主的組織として着実に発展を遂げ、地域社会に果してきたシルバー人材センターの役割そのものに大きな変更はありません。

今後も、センターの事業の実情、経営状況を会員、役職員が真摯に受け止め、危機感を共有し、営業強化と経費削減を最優先課題として健全な財政運営の確立を図り、市民から信頼され愛される、魅力あるセンターを目指します。

これまでとは違った就労内容や条件を希望する会員の増加が予想されます。また、超高齢社会を迎える高齢者世帯や独居高齢者の増加と共に様々な形態の家事援助サービス等の需要が発生するものと思われます。

シルバー事業への信頼と理解を得るため、会報、市広報誌の活用やパンフレット配布等による周知活動を積極的に推進するとともに、シルバーの日のボランティア活動の実施等、会員全員による普及啓発活動を行います。

一 普及啓発活動の推進

我が国は、人類史上例を見ないスピードで高齢社会を迎えており、とりわけ戦後の日本を牽引してきた団塊の世代が65歳となり、高齢化は今以上に急速に進むと思われます。しかししながら、取り巻く環境が如何に変化しようと、「高齢者が働くことを通じて生きがいを得ることも、地域社会の活性化に貢献する。」と

す。

平成26年度基本方針

業体制の確立に努めます。
三 就業開拓・就業拡大活動

今後の団塊の世代の入会を見据えた時に、これまでとは違った就労内容や条件を希望する会員の増加が予想されます。また、超高齢社会を迎える高齢者世帯や独居高齢者の増加と共に様々な形態の家事援助サービス等の需

要が発生するものと思われます。このことから、その受け皿となる就業分野の開拓を強化し、センターの普及啓発をより推進することで就業機会の拡大を図ります。

会員の健康維持と就業中の事故防止に向け、講習会開催、巡回指導実施等により、「安全は全てに優先する。」ことを繰り返し注意喚起し、安全意識の定着を図ります。

四 情報提供・相談活動

会員数は、ここ数年横ばい・減少傾向にあり、多様化する顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、顧客の満足度を高めるためには良質な会員を安定的に確保する必要があります。そのため、定期の入会説明会や日常的な相談業務への真摯な対応、また、ホームページ等による積極的な情報提

六 安定財政運営の推進

センターは、公益法人として社会的地位の向上を見据えた活動が要求されており、今年度も、公共施設周辺の清掃作業など、地域に密着したボランティア活動を実施し、地域の方々に感謝されるだけではなく、元気なシルバーパワーをPRします。

センターを取り巻く環境は、契約金額の伸び悩みや補助金削減などにより厳しい運営状況となっていますが、財政状況を分析し、徹底した経費の見直しや事業の効率化により自主財源の確保に努めるなど、事業運営基盤の強化・安定化を図ります。

七 派遣事業の導入

適正就業の取組みの推進や就業分野の拡大を図るために派遣事業導入が不可欠の状況となつており、県連合会と連携し、早期実施に向けて調査・研究を始めします。

五 社会貢献活動の推進

平成25年度収支決算(平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位:件, 円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
(1) 経常収益		(1) 経常費用	
1 受託事業収益	148,655,123	1 事業費	164,011,325
2 SP技能講習共同費収益	600,000	2 管理費	2,029,868
3 受け取り会費	696,000		
4 受け取り補助金等	14,330,000		
5 特定資産運用益	2,569		
6 雑収入	181,504		
経常収益 計	164,465,196	経常費用 計	166,041,193

平成25年度事業実績

「経常収益は昨年度を下回りましたが、皆様の努力により、収支相償を達成できる程度の最小限に抑えることができました」

平成25年度職群別、公共・民間別事業実績

(単位:件, 円)

	公 共	民間事業所		一般家庭		合 計		
職 群	受託件数	契約金額	受託件数	契約金額	受託件数	契約件数	受託件数	契約件数
技術群	12	480,000	74	14,135,391	0	0	86	14,615,391
技能群	20	1,889,105	94	5,024,968	1,014	19,761,163	1,128	26,675,236
事務整理群	2	27,691	33	570,958	35	94,486	70	693,135
管理群	130	16,098,352	23	1,870,485	1	3,424	154	17,972,261
折衝外交群	4	498,330	19	975,398	1	8,420	24	1,482,148
一般作業群	401	24,998,351	625	30,838,868	1,590	18,868,279	2,616	74,705,498
サービス群	2	187,000	53	8,546,896	432	3,777,558	487	12,511,454
合 計	571	44,178,829	921	61,962,964	3,073	42,513,330	4,565	148,655,123

事業内容(概要)

1 正会員状況

平成25年度末の在籍会員数は323人(男性192人・女性131人)で、前年度末に比べ35人の減となりました。

発注者別では、公共事業が4,4179千円(29.7%)、民間事業が1,04,476千円(70.3%)となっています。

4 普及啓発活動の実施状況

シルバー事業の意義と仕組みの周知を図るため、ポスター、パンフレット等の公共施設等への配布依頼に加え、啓発チラシを作成し新規折込みによる全戸配布を行いました。

2 就業状況

年間を通じての就業実人員数は323人中307人で、就業率は95.0%と、前年度を3.4ポイント上回りました。

就業延人員は33,384人で前年度に比べ1,509人減少しました。

3 受注状況

受注件数は4,565件で、前年度を4件上回りました。

これを職群別で見ると、除草・清掃・草刈等の「一般作業群」が2,616件、剪定・襖・障子張替え等の「技能群」が1,128件、福祉の「家事援助等」の「サービス群」が487件となつております。この3職群での合計は総受注件数の92.7%に達しています。

受託契約金額は、1,48,655千円となり、対前年比94.1%、金額にして約9,259千円の減となりました。

今後、一再度とこのよう悲惨な事故が起きないよう、改めて受託事業の安全性について検証すると共に、安全委員による就業現場への巡回実施、交通安全等の各種講習会を実施し、会員一人ひとりが安全意識を常に自覚して繋

平成25年度の就業中の事故は、傷害事故5件(前年度1件)、物損事故1件(前年度1件)と例年になく多く発生し、死亡事故も発生しました。

5 安全・適正就業の確保

事故が起きないよう、改めて受託事業の安全性について検証すると共に、安全委員による就業現場への巡回実施、交通安全等の各種講習会を実施し、会員一人ひとりが安全意識を常に自覚して繋

張感を持つて就業できる環境づくりを行い、事故撲滅に努めます。

また、安全標語の募集には28人から71作品の応募があり、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を選出しました。

適正就業の確保については、センターの安定運営上必要不可欠なものであり、就業内容の精査を行つてきましたが、引き続き、派遣事業導入等法令に則った事業を推進していきます。

6 研修会・講習会の取組み

会員の技能向上を図り就業機会の拡大に資するため、国の委託事業「シニアワークプログラム地域事業」を県連合会と連携しながら実施しましたが、平成25年度は介護職員初任者講習を9月17から11月29日にかけて実施し、受講者は11人でした。

講習修了後、再就職を希望される方には合同面接会を実施し、事業所へ採用された方もあり実効性のあるものになりました。

**私たち新入会員です。
よろしくお願ひします**

(平成26年4月1日
～7月末日)

(入会順
敬称省略)

下垣内	乗向	宮三	中谷	亀高	田永	川紙	野山	小林
田田	田野	谷井	川石	毛橋	辺上	谷金	中イ	文子
輝嘉	定忠	好義	政孝	純行	豊義	孝太郎	利雅	コ雅
義孝	男	義夫	彦義	行子	子	利夫	行	子

知つておきたい 「熱中症」の基礎知識

熱中症は、気温の上昇などによつて体が熱くなり、体内の水分などのバランスが崩れて体の機能がうまく働かなくなり、ときには死にいたることもある病気ですが、予防法を知れば防ぐことができます。

●熱中症の症状 ①熱中症の症状 ②熱失神（めまい、立ちくらみ、顔面蒼白）

〔原因〕体温の上昇により血管が拡張し、下肢に血液がたまり脳への血流が減少するため。

〔原因〕体温の上昇により、血液中の塩分（ナトリウム）濃度が低下したため。

〔原因〕塩分の補給不足により、血液中の塩分（ナトリウム）濃度が低下したため。

〔原因〕水分補給不足により脱水状態となり、循環血液量が減少し、脳や内臓への血流が減少したため。

い・ショック状態）

〔原因〕体温が上昇したために脳の温度も上昇し、脳の機能に異常をきたしている状態。

●なぜ起きる

人の体温の許容範囲は35度から41度と幅が狭く、これを逸脱すると細胞が破壊されて死に至ります。

体温が上昇すれば汗をかいて

体温を下げようとしていますが、この時汗で身体の中の多量の体液（水分・塩分等）を失うと脱水症になります。

脱水症が進み、汗が出なくなると体温が上昇し、許容範囲を超えると死に至ります。

脱水症のベースは脱水症です。気温がそれほど高くない日、30度を超えてても、湿度が高い、風がない日は要注意！また、屋外、屋内、昼、夜なく起こりうることを忘れないでください。

④熱射病（意識障害・反応が鈍

※ 気温30度の真夏日でも湿度35

%と乾いていれば「注意レベル」ですが、湿度65%になれば「厳重警戒」、湿度85%だと「危険レベル」に上がります。

●予防対策

熱中症は当日の水分とミネラル不足から起きるものではなく、数日前からの不足が原因なので、日

頃から水分とミネラルの補給を心がけましょう。
・日頃から少し汗をかく活動、適切な食事・睡眠、体重維持などの自己管理をしっかりとしましょう。
・身体への蓄熱を避けるため、通気性の良い吸湿性・速乾性のある衣服を着用しましょう。

安全を最優先

今年こそ、
無事故を目指して安全就業

センターでは、「安全は全てに優先する」を合言葉に、最重要課題として日々取り組んでいますが、残念ながら昨年度は重篤事故を含む6件の事故が発生いたしました。

して、改めて「安全就業心得10力条」の再確認をしていただき、なお一層の緊張感をもつて事故に遭わぬよう十分気をつけてください。

【安全就業心得10力条】

一 作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないでください。
二 器具類は使用する前に必ず点検してください。

三 服装、履物は作業に合った動きやすいものにしてください。
四 作業前には軽い柔軟体操をして体をほぐしてください。

五 加齢による諸機能の低下を十分認識し、無理をしないでください。
六 作業現場は常に整理整頓を心がけてください。

七 共同作業では、合図、連絡を正確に行ってください。

八 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけてください。

九 仕事の前日には、十分な睡眠をとるよう心がけてください。
この経験を無駄にせず、教訓と



正門芳子(土生町)
川上 力(土生町)

【優秀作品】
慣れてこそ 潜む危険 見直そう
回り見て 安全確認 もう一度

会員24名の皆さまから59編の応募があり、7月22日に安全委員による選考委員会を開催し、慎重

な審査を行いましたところ、多くの力作の中から次の3編が入選となりました。

安全就業標語の 入選作品決まる

受講生募集

シニアワークプログラム事業講習会

◎近隣の主な講習日程

会場	講習名	募集期間	講習期間	講習日数	募集人員
府中	介護職員初任者講習	7月1日～9月1日	9月16日～11月21日	28日	15人
福山	オフィスクリーニング講習	9月16日～11月4日	11月26日～12月4日	7日	20人
尾道	調理補助講習	9月8日～10月20日	11月10日～11月26日	8日	20人
三原	ガイドヘルパー+同行援護講習	9月29日～11月4日	11月17日～12月5日	8日	20人
世羅	果樹剪定講習	9月1日～10月10日	11月6日～11月18日	10日	20人

配分金の支払について

就業月	支払日
H26年9月就業分	H26年10月15日(水)
10月就業分	11月17日(月)
11月就業分	12月15日(月)
12月就業分	H27年1月19日(月)
H27年1月就業分	2月16日(月)
2月就業分	3月16日(金)
3月就業分	4月15日(水)
4月就業分	5月19日(火)
5月就業分	6月15日(月)
6月就業分	7月15日(水)
7月就業分	8月17日(月)
8月就業分	9月15日(火)

（**府中事務所**）
中村光輝
…今井さん
の後任として、剪定業務とデータ管理業務

4月1日より、府中事務所と上下事務所に職員の採用を致しましたので紹介します。

井さんは、事務局次長としてセンター業務全般に関わりながら、剪定等の業務担当としてご活躍いただき、大変お世話になりました。

（採用）

就業意欲のある55歳以上の方を対象に、介護などの講習会を次の日程により実施しますので、希望される方は受講して下さい。
 ★申し込みは、別紙申込用紙で事務局または上下事務所へご提出ください。
 (申し込み時には、ハローワークに求職登録が必要となります。)
 応募者多数の場合は抽選となります
 ★受講料金は無料です。
 *土曜・日曜日及び祭日は講習を休みます。

急速な高齢社会の進展に伴い、高齢者世帯からの福祉家事援助サービスの受注増加が想定されます。

会員募集

の構築を目指し、会員（男女を問わず、原則60歳以上で健康な方）を募集しています。

入会説明会は、毎月第3木曜日

毎月第3木曜日です

の午前10時から目崎事務所で開催しています。皆様のご参加をお待ちしています。

電話での問い合わせ等も日常的に受け付けております。

お気軽にご相談ください。

職員の異動がありました。

長年、センターの育成に携わつてこられた今井百合さんが、今年3月31日限りで退職されました。今

井さんは、事務局次長としてセンター業務全般に関わりながら、剪定等の業務担当としてご活躍いただき、大変お世話になりました。

（採用）

（上下事務所）
田中智文…前職員が退職後、二年間事務職員不在となっていましたが、嘱託職員として採用。上下町管

内業務全般を担当。

採用後五ヶ月経過しましたが、二人ともセンターの業務に早く慣れようとしていますので、よろしくお願い致します。

（上）田中智文…前職員が退職後、二年間事務職員不在となっていましたが、嘱託職員として採用。上下町管内業務全般を担当。

互助会からのお知らせ

（予告）
毎年恒例の互助会親睦旅行

平成27年3月6日(金)～3月7日(土)
山陰の小京都「津和野」と歴史の街「萩・下関」の旅

詳しい内容は会報平成27年1月号にてお知らせします。

（編集後記）

今夏も連日の猛暑で、まだまだ秋の気配の遠い日々が続いていますが、会員の皆さんにはお変わりございませんか。

体調に十分気をつけられて就業されるようお願いします。

編集部では、より充実した会報となるよう、皆様からの投稿や情報提供をお待ちしています。

編集委員

石谷貴紀
岡田桂三